



錦浦校区まちづくり計画書

～安全・安心で魅力あるまちをめざして～



(2018年～2027年 長期計画)
2018年4月



まちづくりへの思い

この地域を「きんぽ」と呼んでいます。昔は「錦ヶ浦」と呼ばれていました。錦ヶ浦の由来については、後で詳しく述べることにしますが、万葉の頃から自然豊かで穏やかな地域です。私たちは「錦ヶ浦」をこれからも大切にしていきたいと思います。

そしてこの計画書は、私たち地域住民一人一人が～豊かな環境のもと、地域みんなで支え合う『安全で安心して暮らせる』まち～にするために、策定した計画書です。

計画書の策定に当たっては、平成29年3月に校区の全世帯を対象にアンケートを実施しました。

その結果を基に、まち協委員・校区全体の意見交換会を実施し、計画書作成プロジェクトチームにて、長期にわたる地域のビジョンや基本方針・施策を決定し、各部会にて具体的取り組みをまとめました。

「長期計画」は、2027年までの概ね10年間とし、各部会の具体的取り組みは年度ごとに見直しを行います。

そして、地元企業及び明石高専にも参加を求めながら、より良い「まちづくり」を目指して活動していきたいと思います。



目次

1. まちづくりへの思い	P. 1
2. 目次	P. 2
3. 錦ヶ浦の由来・住吉神社	P. 3
4. 錦浦校区の変遷	P. 4
5. わたしたちのまち	P. 5 ～ P. 6
6. まちづくりアンケート結果	P. 7 ～ P. 8
7. まちづくり協議会組織図	P. 9 ～ P.10
8. まちづくりの方針	P.11 ～ P.12
9. 各部会の事業計画	
(防犯防災部)	P.13
(環境衛生部)	P.14
(健康福祉部)	P.15
(スポーツ文化部)	P.16
(子ども部)	P.17
10. 広報編集委員会	P.18



錦ヶ浦(錦浦)の由来

神功皇后は新羅国ご遠征にあたって、住吉大神のご加護を得て、大いに国威を輝かせられましたが、そのご遠征の時、播磨灘で暴風に遭われ、当地に上陸ご滞泊になり、神籬をたてて、住吉大神に平穏を祈願されたところ、波風たちまちおさまり、御軍はつつがなきを得られると伝えられております。また、その時に皇后の着衣を松の枝に掛けて干されたのが風に

たなびいて錦のように美しく見えたので、当地を『錦ヶ浦』と名付けた、と伝えられ



住吉神社

伝承によれば、神功皇后は新羅国ご遠征にあたって、播磨灘で暴風雨が起きたため、当地に上陸し住吉大神に祈願すると暴風雨がおさまったという。凱旋後、神功皇后により住吉大神は摂津国住吉に祀られた。大阪の住吉大社に伝わる『住吉大社神代記』によれば、大神より「播磨国に渡り住みたい。藤の枝の流れ着く所に祀れ」との託宣があり、藤の枝を海に浮かべると、当地に流れ着いた。そこで、雄略天皇8年(464年)に当地に住吉大神を勧請したのが当社の創建と伝わる。正応5年(1292年)に現在地に遷座した。海上守護、産業、和歌文学の祖神と仰がれ、交通安全、商工業、学業の守護神となっている。また、謡曲「高砂」に住吉、高砂の松の相生にしたとして住吉明神の神徳を称えており、夫婦円満の神でもある。



錦浦の変遷

- 1292年(正応 五) ◆中尾住吉神社遷座
- 1627年(寛永 四) ◆中尾住吉神社能舞台建立
- 1648年(慶安 元) ◆中尾住吉神社楼門建立
- 1657年(明暦 三) ◆薬師院本堂建立
- 1713年(正徳 三) ◆中尾住吉神社能舞台再建
- 1716年(享保 元) ◆西海醤油創業
- 1848年(嘉永 元) ◆茨木酒造創業
- 1878年(明治 11) ◆魚住村立西岡小学校設立
- 1887年(明治 20) ◆西岡簡易小学校創立
- 1888年(明治 21) ◆山陽鉄道(JR)兵庫～姫路開業
- 1923年(大正 12) ◆神戸姫路電鉄(山陽)明石～姫路開業
- 1927年(昭和 2) ◆神明国道(国道2号線)開通
- 1936年(昭和 16) ◆魚住錦浦国民学校開校
- 1947年(昭和 22) ◆魚住中学校開校
- 1951年(昭和 26) ◆魚住村と大久保町二見町が明石市と合併
- 1961年(昭和 36) ◆JR魚住駅開業
- 1962年(昭和 37) ◆国立明石工業高等専門学校開校
- 1980年(昭和 55) ◆明姫幹線開通



魚住町は昭和26年明石郡魚住村と大久保町、加古郡二見町が明石市と合併して出来ました。

平成29年7月現在の魚住町の人口は48,593人ですが、昭和35年当時の人口は11,579人と現在の約4分の1でした。

その後、昭和36年JR魚住駅が開業。昭和37年には国立明石工業高等専門学校、昭和53年に明石商業高校が魚住に移転、昭和55年に明石清水高校が開校、9月に明姫幹線が開通し、魚住町の人口は20年間で34,450人と約3倍になりました。

錦浦小学校の前身は、明治11年に魚住村立西岡小学校として設立され、昭和16年4月に魚住錦浦国民学校に改称、昭和26年明石市と合併したことで、明石市立錦浦小



わたしたちのまち



満福寺



明石工業高等専門学校



薬師院(ぼたん寺)



浜の散歩道(毘沙門の浜)



- ♥ AED
- ★ 幼稚園・保育所
- 🏪 コンビニ・スーパー
- 🏥 病院



JR魚住駅



中尾親水公園



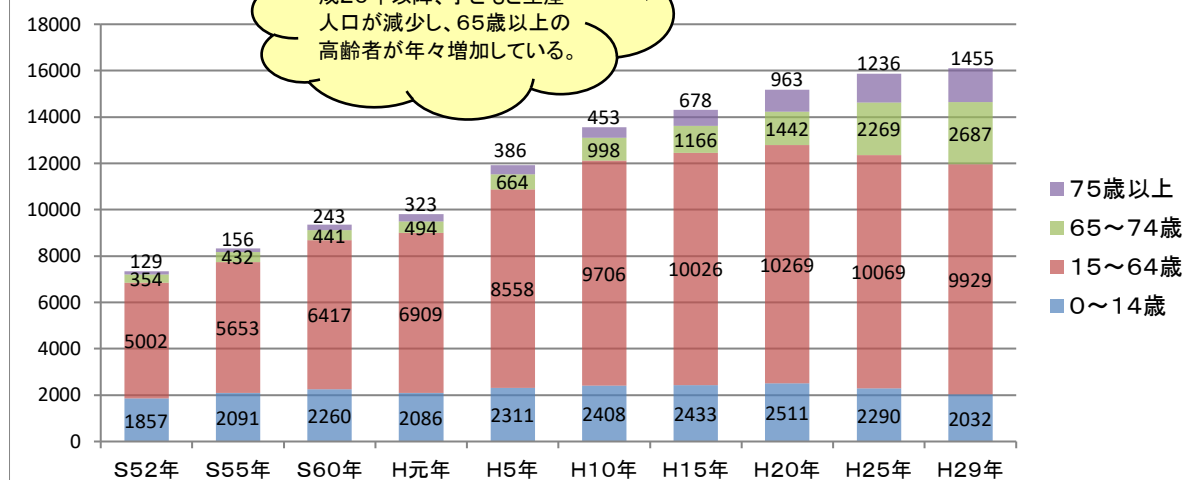
西部市民会館&西部図書館



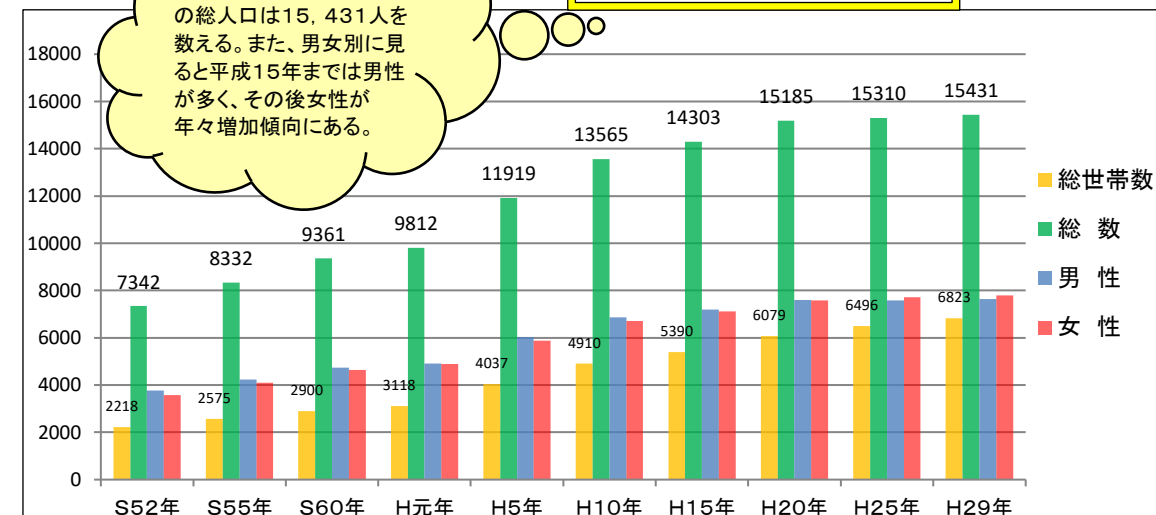
住吉神社能舞台

★統計データ★

年代別人口推移



錦浦校区人口推移

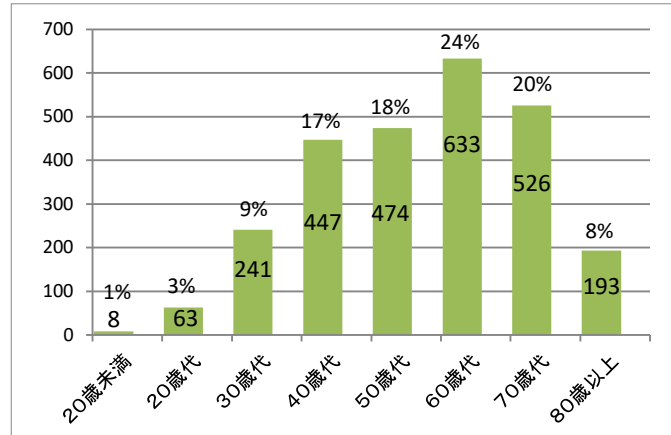


まちづくりアンケート結果

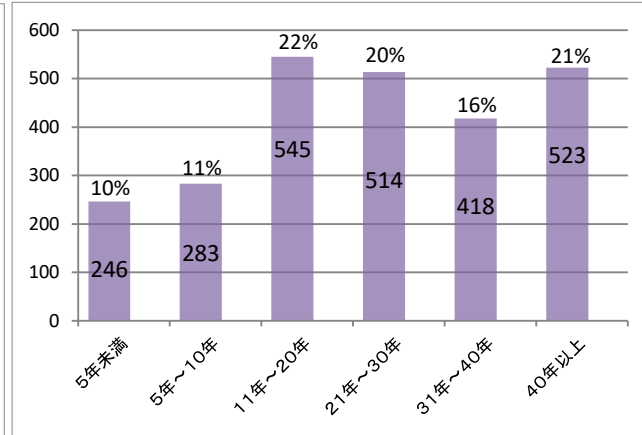
平成29年3月に錦浦校区全世帯を対象に住民アンケートを実施しました。
 ＊アンケート回収率：自治会加入者57.5％ 校区全体46.2％



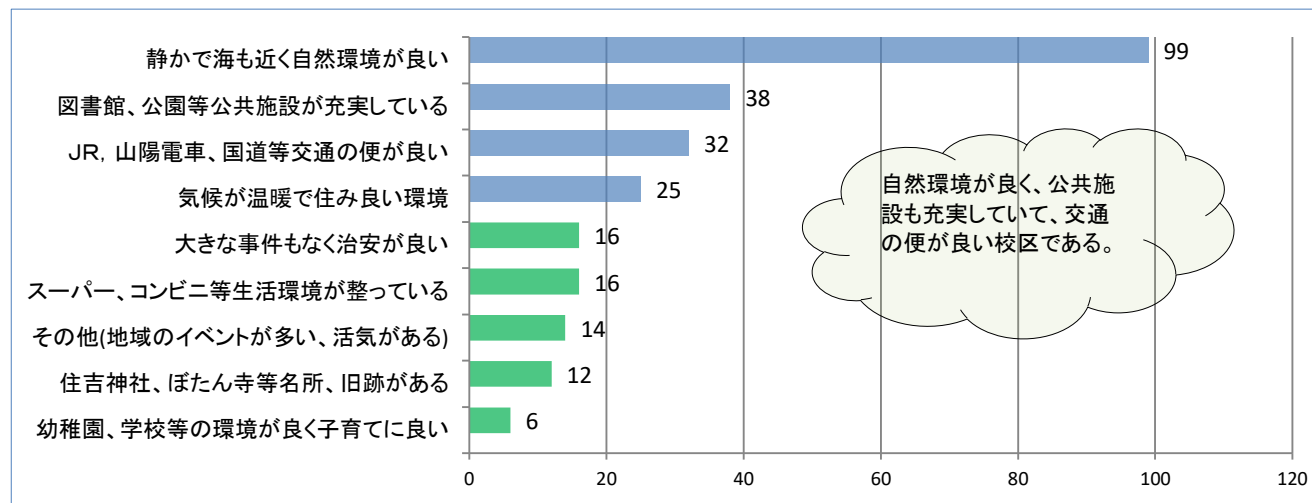
☆アンケート回答者の年齢構成



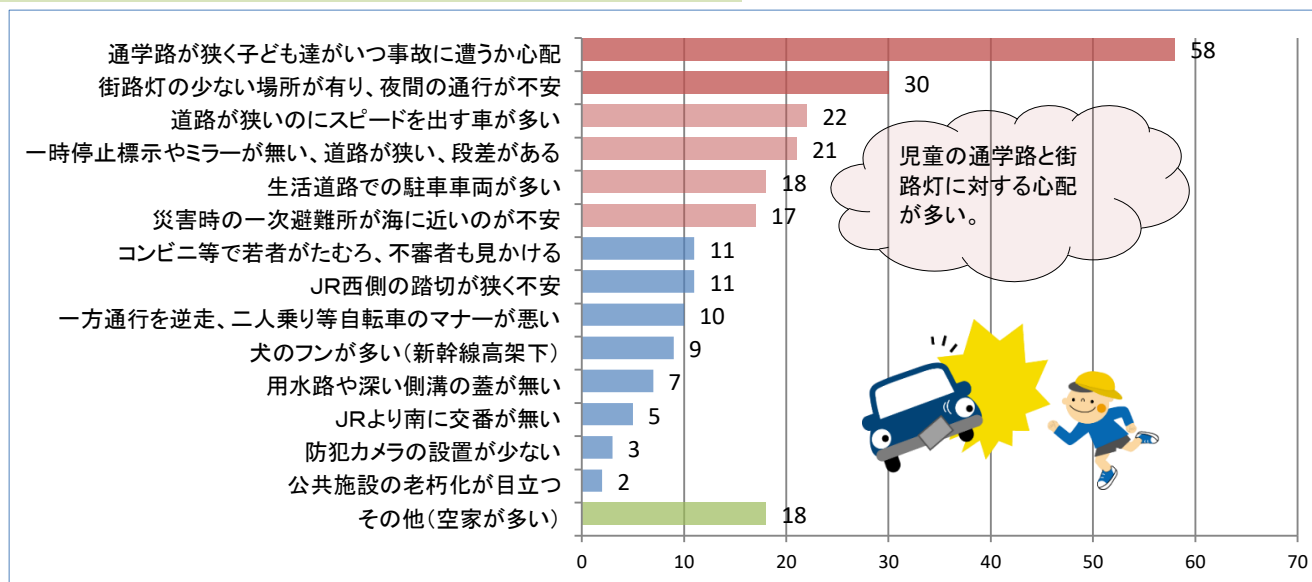
☆アンケート回答者の居住年数



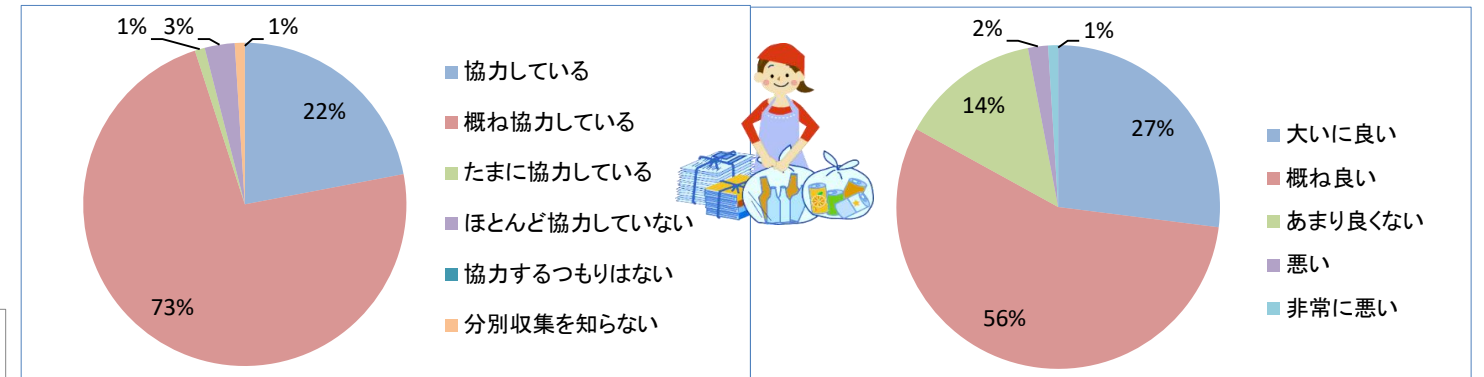
☆錦浦校区の好きなところ



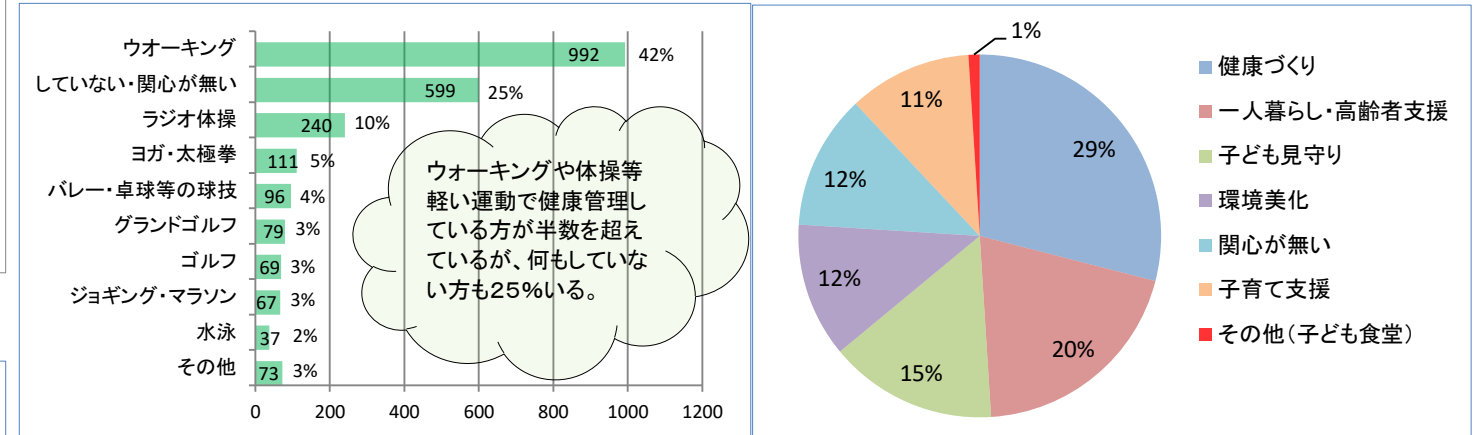
★防犯防災について★(生活する上で不安に思うところ)



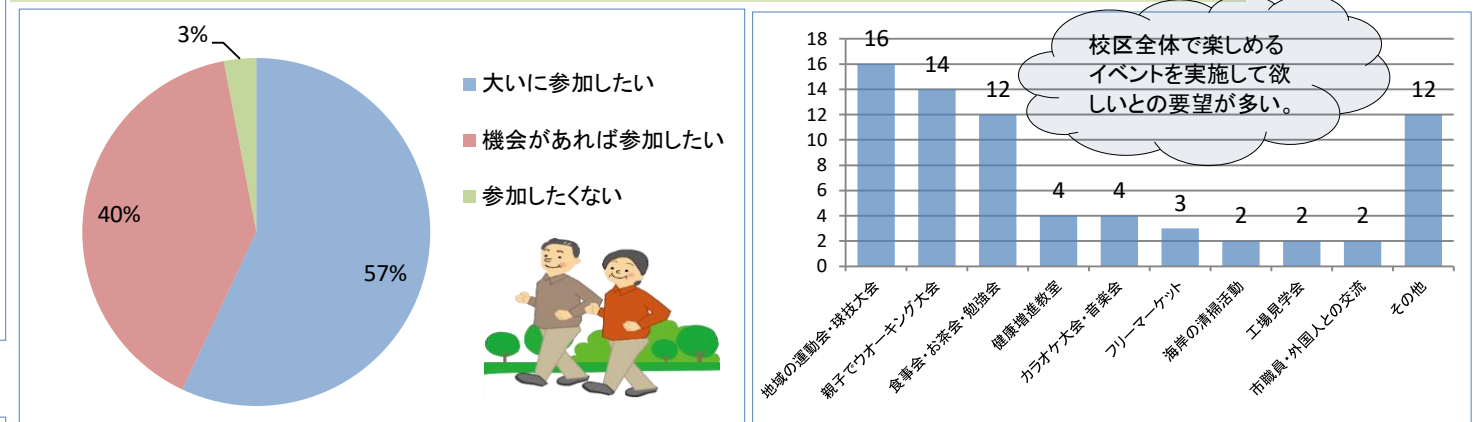
★環境衛生について★(ゴミの分別収集は、ゴミステーションの環境はどうか)



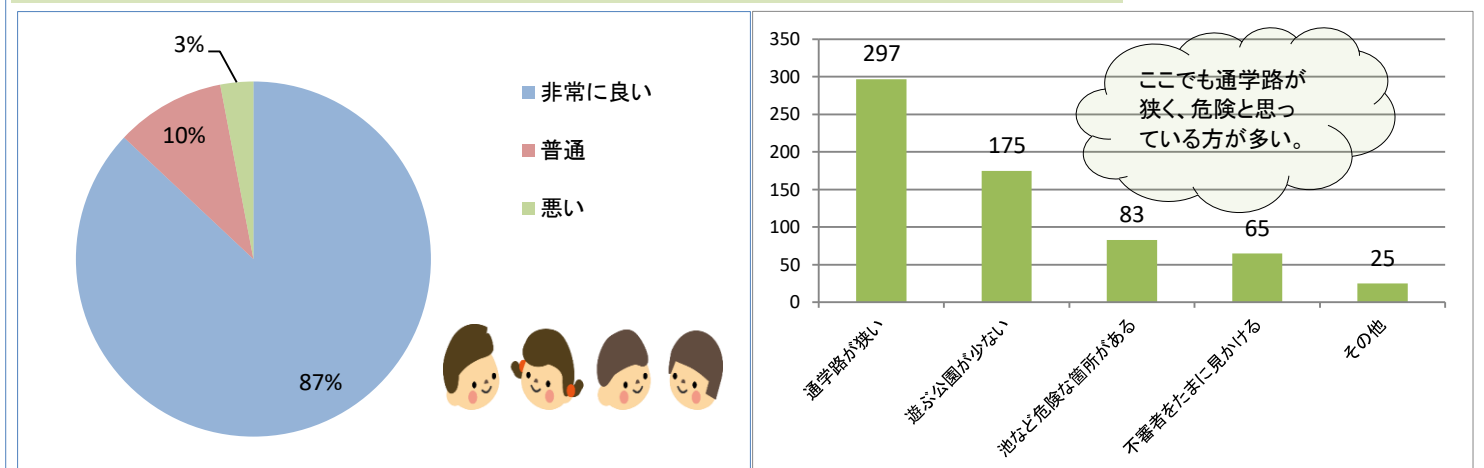
★健康福祉について★(どんな健康づくりをしてますか、関心のある福祉・ボランティア活動は何ですか)



★スポーツ文化について★(地域の活動に参加しますか、どのような交流の場が良いですか)



★子ども達について★(取り巻く環境はどうか、校区の悪い環境は何ですか)



錦浦校区まちづくり協議会



自治会長連絡会

単位自治会長が情報を共有する月1回の連絡会

総会

まち協委員で構成する錦浦校区まちづくり協議会の最高機関

役員会

会長や部会長の要請によるまちづくり協議会の決議機関

(役員構成)

- ・会長 1名
- ・副会長 2名
- ・各部長 5名
- ・会計 1名
- ・監事 2名
- ・事務局長 1名

事務局

広報編集委員会

各部会から選出されたメンバーで構成し、事務局長が編集長の役割を担う。

防犯防災部会

★各自治会7名で構成

環境衛生部会

★各自治会7名で構成

健康福祉部会

- ★各自治会(2名)
- ★民生児童委員協議会(3名)
- ★校区高年クラブ(2名) 計7名で構成

スポーツ文化部会

- ★各自治会(5名)
- ★SC21(2名)
- ★校区高年クラブ(1名) 計8名で構成

子ども部会

- ★各自治会(2名)
- ★校区子ども会(2名)
- ★幼稚園PTA(2名)
- ★小学校PTA(2名)
- ★SC21(2名) 計10名で構成

★ まち協委員 ★

各自治会、各種団体から複数名選出された者の事を「まち協委員」とし、部会と総会の構成委員とする。

※ 各団体の参加人数 ※

○自治会	25名
○SC21	4名
○校区高年クラブ	3名
○校区子ども会	1名
○幼稚園PTA	2名
○小学校PTA	2名
○民生児童委員	4名
計	41名

★ 協力団体 ★

- 明石市防犯協会錦浦支部
- 国立明石工業高等専門学校
- 魚住地域総合支援センター

まちづくりの方針

《わたしたちの目指すまち》

にしがうら

錦ヶ浦の

豊かな環境のもと

地域みんなで支え合う

「安全・安心で魅力あるま

各
部
会
の
基
本

防犯防災部会

安全で安心して暮らせる
『災害に強い』

- ①地域で取組む防犯対策の推進
- ②安全・安心を確保する設備の整備
- ③通学路における交通マナーの向上
- ④災害時における支援体制の整備

環境衛生部会

花と緑があふれる
『環境に優しい』

- ①子どもや高齢者・障害者に優しい道路環境の整備
- ②集団回収によるごみ減量化の推進
- ③豊かな環境保全と美化運動の推進
- ④環境に優しいごみステーションの整備

健康福祉部会

世代を超えて支え合う
『明るく元気な』

- ①地域で、みんなで安心・安全の見守り活動の推進
- ②いつでも、どこでも健康づくりの推進
- ③子育て世代を応援する施策の整備
- ④生涯学習で生き甲斐づくりの推進

スポーツ文化部会

地域住民が親睦を図り
『活気あふれる』

- ①地域住民が誰でも参加できるスポーツイベントの開催
- ②地域住民の親睦を図る文化活動の推進
- ③伝統的祭りや文化の保全と継承
- ④地元企業と親睦を図る交流イベントの開催

子ども部会

明るく元気な子どもを
『地域で育てる』

- ①学校と地域で支える子育て支援の推進
- ②地域で見守る安全活動の推進
- ③子ども達が安心して遊べる環境の整備
- ④子ども達が地元で愛着を持つ世代間交流の推進



防犯防災部会



安全で安心して暮らせる『災害に強い』まちづくり

現状の良いところ	現状の問題点
◇スクールガードさんによる安全管理ができています ◇団結力がある ◇防災マップがある ◇単位自治会で避難訓練を実施 ◇ポータリングを通学路に設置している	◆歩道のスペースが少ない（狭い） ◆交通マナーが悪い（通学時間帯の交通規制がないので、迂回の車が多い） ◆防犯意識が少ない（防犯カメラが少ない） ◆災害発生時にどうしたら良いかわからない ◆防犯灯・街路灯の不足

施 策	事 業（案）	時 期	関連する部会
①地域で取組む 防犯対策の推進	* 危険箇所のマップ作り （痴漢発生個所など注意喚起が必要な場所）	2020年までに 作成完了	子ども部会
	* 防犯カメラ・防犯灯の設置に向けた情報収集活動	2年間で実施 （2019年度～2021年度）	
②安全・安心を確保 する設備の整備	* 明石高専を一次避難所指定に向けての活動	5年～10年後に指定 （2022年度～2027年度）	
	* 津波警報発令時の高層ビルへの一次避難受け入れの検討	3年～5年後に指定 （2020年度～2022年度）	
③通学路における 交通マナーの向上	* 交通ルール・マナーの講習会を開催	2年後に実施 （2019年度）	
	* 錦浦小学校・幼稚園との合同防災訓練時に交通マナーの講習会を実施	2年後に実施 （2019年度）	全部会
④災害時における 支援体制の整備	* 避難所生活を行う上でのルールの作成	5年～7年後に作成 （2022年度～2024年度）	全部会
	* 避難所において、避難者・救援物資などの受け入れ体制の確立		
	* 災害時における、行政・近隣まち協等との協力体制の構築	5年～10年後に作成 （2022年度～2027年度）	



- ◎防犯防災部会メンバー
- （部長）・片岡 慎治
- （部員）・永井 京子 ・堀井 満弘
- ・山崎 顕 ・名村 俊男
- ・石村 悦子 ・吉永 修

環境衛生部会



花と緑があふれる『環境に優しい』まちづくり

現状の良いところ	現状の問題点
◇JR魚住駅前広場が整備されている ◇ゴミ出しルールを概ね守っている	◆公園に花が無い ◆空き缶、吸い殻などポイ捨てが多い ◆世帯数の増加によるゴミステーションの狭所地域がある ◆放置自転車が多い ◆ゴミステーションのカラス・猫対策が少ない

施 策	事 業（案）	時 期	関連する部会
①子どもや高齢者 障害者に優しい 道路環境の整備	* 通学路の危険箇所の点検、行政への陳情	通年	防犯防災部会
	* カーブミラーの設置検討	通年	
	* 側溝・水路の危険箇所の特定	通年	
	* 歩道部と車道部の縁石バリアフリー化の推進	通年	
②集団回収による ごみ減量化の推進	* モデル地域の見学会	2018年度	
	* 自治会ごとのゴミに関する状況把握	2018年度～2019年度	
	* 分別の徹底についての検討	2018年度～2019年度	
③豊かな環境保全と 美化運動の推進	* 校区一斉清掃活動	毎年6月・12月	
	* アダプトロード（街区の整備・美化活動）の拡大	2018年度～2020年度	
	* 公園の整備 （季節の草花の管理と除草及び清掃）	毎年6月・12月	
④環境に優しいごみ ステーションの整備	* ごみステーションの環境整備	2018年度～2020年度	
	* ごみステーションの清掃当番制を徹底	2018年度～2020年度	
	* 猫・カラス対策（防護ネット等）	2018年度～2020年度	
	* 正しい分別マナーの向上	2018年度～2020年度	



- ◎環境衛生部会メンバー
- （部長）・松本 常廣
- （部員）・細田 博幸 ・橘 明
- ・田口 慶二 ・佐々木 洋太
- ・三宅 麻紀 ・高木 美香

健康福祉部会



世代を超えて支え合う『明るく元気な』まちづくり

現状の良いところ	現状の問題点
◇児童クラブやこども食堂があり、子育て世代や 共働き世帯から高く評価されている ◇毎年『錦ヶ浦世代ふれあい交流会』を開催し、世代間交流に取り組んでいる ◇地区社協の福祉フェスタ開催や民生児童委員による高齢者の見守り活動に積極的に取り組んでいる ◇小学校児童の登下校時見守り活動に自治会 ・ Ｐ Ｔ Ａ ・ 高年クラブが参加し活動している	◆スクールガードに多くの方が参加しているが、見守り組織として一元化できていない ◆民生児童委員の受け持ち範囲が広く、地域全体での支援・連携が課題 ◆高齢化時代に『存在感のある高年クラブ』への再編が必要 ◆一人暮らしの高齢者や老老介護家族の実態把握ができていない

施 策	事 業（案）	時 期	関連する部会
❶地域で、みんなで 安心・安全の見守り 活動の推進 （高齢者見守り活動）	* 「支え合いポスト」・「お助けマン」による高齢者の支援	通年	全部会
	* 高齢者の仲良しグループで毎日安全確認	通年	
	* 福祉情報の広報活動及び福祉マップの作成	２０１９年度までに	
	* 魚住総合支援センターとの連携を強化	通年	
❷いつでも、どこでも 健康づくりの推進 （健康な体づくり）	* 健康体操の拠点づくりと普及活動を推進	通年	スポーツ文化部会 環境衛生部会 子ども部会
	* グラウンドゴルフの普及とグラウンド整備	２０２０年度～２０２３年度	
	* サイクルロードをウォーキングロードと併用に整備	２０２０年度～２０２３年度	
	* ゴミ拾いスポーツ運動の呼びかけと普及活動	通年	
❸子育て世代を応援 する施策の整備 （子育て支援）	* スクールガード組織の再編（マップ作成）	２０１８年度～２０２１年度	全部会
	* 小学校児童と明石高専学生との交流会の開催	毎年実施	
	* 親子で公園清掃・花植え（公共マナーの教育）	毎年実施	
❹生涯学習で生き甲斐 づくりの推進 （生き甲斐づくり）	* 住吉神社を拠点にした学習活動 （野鳥・植物・昆虫など自然観察、謡曲・仕舞の伝統技能の継承、俳句・写生など趣味活動）	毎年実施	子ども部会 スポーツ文化部会
	* 西部市民会館の活用 （映画鑑賞友の会、県警音楽隊の定期演奏会、校区文化作品展、世代交流会など）	毎年実施	



◎健康福祉部会メンバー

（部長）・馬場 康彦
（部員）・笹谷 哲也 ・筒井 真澄
・寺沢 宣 ・中村 公子
・山崎 恵子 ・加来 旭

スポーツ文化部会



地域住民が親睦を図り『活気あふれる』まちづくり

現状の良いところ	現状の問題点
◇錦ヶ浦世代ふれあい交流会を毎年開催 ◇グラウンドゴルフに多数の方が参加	◆グラウンドゴルフ等のスポーツイベント開催場所が狭い ◆運営スタッフの高齢化・人員の確保 ◆子どもから大人まで全ての住民が参加するイベントが無い

施 策	事 業（案）	時 期	関連する部会
❶地域住民が誰でも 参加できるスポーツ イベントの開催	* 錦浦校区運動会開催の検討	２０１９年度～２０２２年度	健康福祉部会
	* 子どもたちのスポーツイベント開催 （ソフトボール・バレーボール等）	毎年実施	
	* 交流バレーボール大会の開催	毎年実施	
	* グラウンドゴルフ大会の開催	毎年実施	
❷地域住民の親睦を 図る文化活動の推進	* 錦ヶ浦世代ふれあい交流会を開催	毎年実施	全部会
	* 校区文化作品展開催の検討	２０１８年度～２０２０年度	
❸伝統的祭りや 文化の保全と継承	* 左義長などの伝統行事の開催	２０１９年度～２０２２年度	全部会
❹地元企業と親睦を 図る交流イベント の開催	* 歴史体験ウォーキング開催の検討	２０１９年度～２０２２年度	全部会
	* 工場見学会実施の検討	２０１８年度～２０２０年度	



◎スポーツ文化部会メンバー

（部長）・丸尾 安郎
（部員）・橘 賢一 ・宮田 正晴
・藪中 康生 ・茨木 良三
・田口 好男 ・茨木 博信
・鯉田 忠彦

子ども部会



明るく元気な子どもを『地域で育てる』まちづくり

現状の良いところ	現状の問題点
◇スクールガードの方々と交流ができています ◇きんぽっ子フェスティバルを毎年開催 ◇まちづくり協議会で子ども食堂を実施	◆通学路で危険箇所が多い ◆子ども会組織が減少している ◆公園の遊具が少ない ◆地域との交流が少ない

施 策	事 業（案）	時 期	関連する部 会
①学校と地域で支える 子育て支援の推進	* 子ども食堂の継続	毎月2回	全部会
	* きんぽっ子フェスティバルの開催	毎年8月	
	* 子ども会の活性化	通年	
	* 子育てカウンセリングの開催	2018年度～2020年度	
②地域で見守る 安全活動の推進	* 通学路の危険箇所における見守り活動	通年	全部会
	* 通学路の危険箇所を抽出し改善策を検討	2018年度～2019年度	
	* 交通安全教室の開催	2018年度～2020年度	
③子ども達が安心して 遊べる環境の整備	* 児童公園の整備（定期的に草刈りを実施）	毎年実施	環境衛生部会 健康福祉部会
	* 児童公園の遊具の点検、整備	毎年実施	
	* 地域マップの作成	2018年度～2020年度	
④子ども達が地元 に愛着を持つ世代間 交流の推進	* あいさつ運動の推進	通年	スポーツ文化部会 健康福祉部会
	* 地域の伝統行事への参加、継承	2018年度～2020年度	
	* 地域でのふれあい活動	2018年度～2020年度	



◎子ども部会メンバー

（部長）・河野 良平
（部員）・山崎 信宏 ・池田 由紀子
・内藤 進 ・西光 志保
・石田 悦子 ・井内 照子
・濱中 信行 ・濱本 邦佳

広報編集委員会

◆まち協・各自治会の情報を『錦浦まちづくりだより』で伝えます◆

創刊号(平成28年7月)

* 錦浦校区まちづくり協議会
設立総会

* まち協の組織図

第2号(平成29年2月)

* まちづくりアンケートのお願い
* 計画書作成スケジュール
* 皆で防災訓練に参加しよう
* 錦ヶ浦キッチン（子ども食堂）は

第3号(平成29年6月)

* 「錦浦校区まちづくり計画」アン
ケート結果

* まちづくり計画書作成スケジュール

これからも、まちづくり協議会及び錦浦校区全体の情報を的確に伝えます

錦浦校区まちづくり協議会「まちづくり計画書」 策定プロジェクト会議の経緯

・平成28年11月11日
・12月15日
・平成29年 1月26日
・2月15日
・7月14日
・8月10日
・9月 7日
・10月12日
・11月14日
・11月24日
・12月21日
・平成30年 1月18日
・2月22日
・3月22日
・4月 1日

・プロジェクトチーム設置に至る経緯
・計画書作成スケジュール、手法、内容の検討
・具体的スケジュール、手法、内容の検討
・アンケート調査（案）の検討
・アンケート調査実施に伴う配布作業
・アンケート結果報告、意見交換会のまとめ
・まちづくり計画書の素案検討
・各部の基本方針、施策、具体的事業の整理
・各部の基本方針、施策、具体的事業の検討
・各部の基本方針、施策、事業の整理と全体の整合性検討
・各部の基本方針、施策、事業の確認
・各部の基本方針、施策、事業の整理と全体の整合性検討
・各部の事業計画の検討
・計画書全体の整合性検討
・計画書構成の確認
・臨時総会に向けての最終確認
・まちづくり協議会臨時総会にて計画書の承認



「まちづくり計画書」 策定P Jメンバー

小林 哲生
中嶋 実
吉久 昭
片岡 慎治
松本 常廣
馬場 康彦
丸尾 安郎
河野 良平
細田 博幸
茨木 良三
橘 賢一
筒井 眞澄
山崎 信宏
石村 悦子
井内 照子
濱本 邦佳

協 力

自治会長連絡会
明石コミュニティ創造協会
木上 裕貴・前淵 豊敬



錦浦校区まちづくり計画書は、平成29年3月に実施した校区住民のアンケート結果を基にして校区全住民・まちづくり協議会委員・各部会の意見を集約して、計画書作成プロジェクトチームが編集したものです。

この計画書により、これからの錦浦校区が～「安全で安心して暮らせる」まち～へと、益々成熟する事を願っています。



錦浦校区まちづくり協議会

〒674-0084 明石市魚住町西岡1349

錦浦小学校区コミュニティ・センター内

☎ 078-947-3244

発行：平成30年4月